

発行所：新社会党
〒101-0051 東京都千代田区神保町2-10 三辰工業ビル3F
TEL 03(6380)9960 FAX 03(6380)9963
振替 00140-0-149727 1ヶ月700円 郵送料 1ヶ月168円

新社会主義

2026年1月 279号

発行：新社会党千葉県本部
千葉市中央区新田町7-5 石出ビル3F
TEL:043-244-6865 FAX:043-244-6864
E-mail:sinsya@lily.ocn.ne.jp
HP URL:<http://shinsya-chiba.sub.jp/>

着々と進む軍事国家への道

〔安倍政権〕

- | | |
|-----|---------------------------------|
| 06年 | 教育基本法の改悪「道徳心を養う」 |
| 07年 | 防衛庁を防衛省に格上げ |
| 13年 | 特定秘密保護法の制定 |
| 14年 | 武器輸出禁止三原則の撤廃
防衛装備品移転三原則を閣議決定 |
| 14年 | 集団的自衛権の閣議決定 |
| 15年 | 安保法制（戦争法）の強行採決 |
| 17年 | 組織的犯罪処罰法の制定 |
| 21年 | 重要土地取引規制法案 |

【管政權】

- 【吉田氏】
学術会議6人排除
防衛費5年間で43兆円



【岸田政権】

- ## 【岸田政権】 22年 防衛三文書閣議決定

【高市政権】

- 【高市政権】
高市早苗自民党総裁首相就任25年10月
○ 台湾有事は日本の存立危機事態と発言
○ 防衛費GDP比2%は2年早める
○ 非核三原則の見直しを主張
○ 殺傷兵器輸出解禁を協議

* 今月の通常国会に「スパイ防止法」と「国家情報局創設」の2法案を提出する方針（言論弾圧の手段）

2026年新春のつどい

とき：2026年1月24日（土）13:00
ところ：習志野市京成労働会館大ホール
1部：講演会「武力で平和はつくれない！」
—非武装中立のリアリズム—
講師 總合厚氏（山口大学名誉教授）
2部 懇親会
習志野ビッグバンドJMSのジャズ演奏会



2026新年にあたって

高市有翼政權 NO!



新社会党千葉県本部宮川敏一委員長

会議員の定数を1割削減する事が画策され削減する明確な理由もなく、しかも、議論が進展しなければ1年後に自動的に成立するという、民主主義とは程遠い考え方でした。

さらに、高市首相は、台湾と中国との間で武力衝突が起きた場合は、日本の「存立危機事態」に相当すると発言しました。これは、中国の国内問題に介入し自衛隊を出動するというもので、1972年の日共同声明に明確に反し、中国に対する「内政干渉」であり、危険な軍事的挑発とも言えます。

の「道徳心を養う」とする「教育基本法の改悪」同じく07年の「防衛厅を防衛省への格上げ」以来、「特定秘密保護法」「武器輸出禁止三原則の改悪」「集団的自衛権の閣議決定」「安保法制（戦争法）の强行採決」等々、着々と戦争のできる国へ体制を整そろえました。この安倍政治を信頼し引き継ぐとした高木早苗首相率いる自衛権は「極右政権」ととも言われ、今後も、新聞の右翼政党と手を組んで、人権や民主主義踏みにじり軍事国家への道を急速に進める危險性をほりこんでいます。私たち新社会党は、

一度と戦争をしないため、平和憲法を活かし、守り続けて30年になります。日本社会党時代からいえば80年です。

小選挙区制のもとで残念ながら、近年は党勢を大きく延ばすことはできていませんが、岡崎宏美新社会党委員長はじめ田村智子日本共産党委員長、福島瑞穂社会民主党党首などによる共同街宣が行われるなど、護憲の新しい塊をつくりうという動きもはじまりました。

戦争と軍隊を放棄するもとも崇高な理念

「最高の結果を得なってから文句」。
長かつた国学の末端役員を退任する時に「役員心得あいえお」と題して簡単な冊子を作った。その「あ」から「わ」までの拙句のひとつである▼会議等での「べき論」に筆者は「確かにおしゃる通りです」と心の中で呟く。そんな御高説に心を動かされることはない。空文句など現実の前には無力だからだ。とはいっても根幹にかかるべき論にはこだわる▼高市政権発足後、日本が抛つて立つ根本原則がいとも簡単に足蹴に

「最高の結果をねだつて
から文句」。
長かった国学の末端役員を退任する時に「役員心得あいえお」と題して簡単な冊子を作った。その中で「あ」から「わ」までの拙句のひとつである▼会議等での「べき論」に筆者は「確かにおしゃる通りです」と心の中で呟く。そんな高説に心を動かされることはない。空文句など現実の前には無力だからだ。とはいっても根幹にかかる「べき論」にはこだわる▼高市政権発足後、日本が抛って立つ根本原則がいとも簡単に足蹴にされてきた。核兵器保有論の公然化や武器輸出拡大など、筆者はNSで「この大馬鹿ども」と発信した。だが市政権の支持率が70%近くを推移し、若い年代層では90%超えだとの報道もあった。設問の仕方によつて違つが出来るようだが、この傾向はほぼ間違いない▼新年とはいえ、ともおめでたい気分になれない読者も多からう。「高市の手綱危うい年」。傍観はできぬ。

元文科省事務次官の前川喜平さん（現在は現代教育行政研究会代表）を講師に迎え「右傾化の進む社会に対し、われわれはどう向き合うか？」というテーマで講演会を開催した。

民連絡会は12月2日、元文科省事務次官の前川喜平さん（現在は現代教育行政研究会代表）を講師に迎え「右傾化の進む社会に対し、われわれはどう向き合うか？」というテーマで講演会を開催した。

生かせ憲法・市原市会館近辺で江戸時代から続く五井大市が開かれます。

返すほどの混雑で、講演会参加者の人数にどう影響するのか危ぶまれた。

しかし、前川さんの想を上回る200名を超える参加者で急遽イスを増やすほどの盛況ぶりだった。

前川さんは「右傾化の本質は人間の命よりも国」が大事とするこ

とが大事で、権力者は

も独特で、金で票が買

われるよう富と権力が一体になっている。

道徳が強調されるが、

が、日本はそのなかで

世界中に拡がっている

が、日本はそのなかで

も独特で、金で票が買

われるよう富と権力が

が、日本はそのなかで

世界中に拡がっている

が、日本はそのなかで

も独特で、金で票が買

われるよう富と権力が